

令和2年度事業報告書

(自・令和2年4月1日～至・令和3年3月31日)

令和2年度 あやめの里（生活介護事業）において

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

「認められる」「必要とされる」を念頭に生活介護支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員5名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、野菜の栽培、地域の草刈作業、菓子製造、洗濯作業等、障害・個性に合わせた支援を行った。

令和2年度 せらの里（児童発達支援・放課後等デイサービス）において

児童発達支援および障害児相談支援を新たに開所し、児童単独の多機能型施設として開始した。

放課後等デイサービスでは、児童の放課後、長期休み中の支援を、動物セラピーを中心に生きる力を伸ばせるよう支援を行った。

具体的には、定員3名の支援を、施設長・サービス管理者1名・保育士2名・嘱託医1名で行った。

内容は、動物セラピー・アート指導・ダンス指導・生活指導・文化活動など、個性に合わせた支援を行った。

児童発達支援では、生きる力を伸ばせるよう支援を行った。

具体的には、定員7名の支援を、施設長・サービス管理者1名・保育士2名・嘱託医1名で行った。

内容は、動物セラピー・アート指導・ダンス指導・生活指導・文化活動など、個性に合わせた支援を行った。

令和2年度 すが野の里（生活介護事業）において

すが野の里は、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

「認められる」「必要とされる」を念頭に生活介護支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員7名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、野菜の栽培、野菜の加工、菓子製造、箱折り作業を行った。

栽培・加工から販売までの幅広い作業の中で、個性に合わせた支援を行った。

令和2年度 潮かぜの里（生活介護事業）において

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員5名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、一般企業の袋詰め・箱折りなどの受託事業を中心に行い、個性に合わせた支援を行った。

令和2年度 さざなみの里（就労継続B型事業）において

就労継続B型サービスでは、海苔加工・清掃事業及び、内職作業を行った。

具体的には、定員30名の支援を、施設長1名・サービス管理者1名・生活支援員2名・職業指導員4名で行った。

内容は、海苔加工に関わる作業、清掃に関わる作業、内職作業等、個性に合わせた作業で、工賃アップを目指した。

令和2年度 きずなの里（就労移行事業・就労継続B型事業・生活介護事業）において

就労支援移行事業サービスでは、一般就労に向けた具体的な支援を行った。

具体的には、定員6名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員1名・職業指導員2名・就労支援員1名で行った。

内容は、ジャム製造・販売、喫茶店運営等、個性に合わせた作業を通して、協調性を養い、就労訓練を行った。

就労継続B型事業サービスでは、福祉的就労としての支援を行った。

具体的には、定員14名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員2名・職業指導員5名で行った。

ジャム製造・販売、喫茶店運営等、個性に合わせた作業を通して、協調性を養い、一般就労に替わる工賃を目指した。

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

「認められる」「必要とされる」を念頭に生活介護支援を行った。

具体的には、定員10名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員3名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、絵画・手芸など、創作活動を中心に行った。

令和2年度 瀬戸の里（生活介護事業・就労継続B型事業）において

生活介護事業サービスでは、畑作業を中心とした支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員5名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、畑作業、織り等創作活動を通して集中する力を養い、利用者の自立を目指した。

就労継続B型事業サービスでは、福祉的就労としての支援を行った。

具体的には、定員10名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員1名・職業指導員3名で行った。

内容は、畑作業、手工芸、創作活動等、個性に合わせた支援を行った。

令和2年度 あじさいの里（生活介護・就労移行・就労継続B型）において

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員3名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、カレーハウス若菜の食材製造を中心に行い、創作活動等、個性に合わせた支援を行った。

就労支援移行事業サービスでは、一般就労に向けた具体的な支援を行った。

具体的には、定員6名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員1名・職業指導員2名・就労支援員1名で行った。

内容は、店舗訓練や食品加工など、就労訓練を行った。

尚、カレーハウス若菜の食材製造をを確実にを行うため、新市に土地を購入。施設も府中から福山市新市町に移転した。

就労継続B型事業サービスでは、福祉的就労としての支援を行った。

具体的には、定員14名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員1名・職業指導員3名で行った。

内容は、畑作業、そば店舗運営など自立に向けた支援を行った。

尚、今年度より、新市に移転して結が近くなったため、結のそば屋も管轄した。

令和2年度 北方の里（生活介護・就労移行）において

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

具体的には、定員30名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員4名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、創作活動・畑作業・食品加工等、個性に合わせた支援を行った。

尚、重度の生活介護の利用者が増えたため、就労支援移行事業を廃止した。

令和2年度 就労支援施設（手打ちそば結・カレーハウス若菜・ベーカリーカフェ マレア・ジャムアンドカフェ）において

さざなみの里・きずなの里・あじさいの里の利用者において、支援効率を考え、施設とは切り離し、今までのスキルアップと共に、工賃の大幅なアップを図るため、就労訓練場所として支援を図った。尚、マレアの店舗をコロナ対応のため閉店し、美術活動の施設と使用できるよう準備した。それに伴い、マレアの活動をさくらの里の配食センターに移した。

令和2年度 川辺の里（共同生活介護事業・短期入所事業）において

川辺の里共同生活介護事業・短期入所事業（川辺の里・ほたるの里）において

共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

具体的には、定員、川辺の里 16 名・ほたるの里 2 名の支援を、管理者 1 名・サービス管理者 1 名・生活支援員 3 名・世話人 5 名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

令和2年度 たかすの里（共同生活介護事業・短期入所事業）において

たかすの里共同生活介護事業・短期入所事業（たかすの里Ⅰ・たかすの里Ⅱ・さくらの里）において共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

具体的には、定員、さくらの里 9 名・たかすの里Ⅰ 8 名・たかすの里Ⅱ 20 名の支援を、管理者・サービス管理者 1 名・生活支援員 3 名・世話人 9 名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

令和2年度 あかねの里（共同生活介護事業・短期入所事業）において

あかねの里共同生活介護事業・短期入所事業（あかねの里・みのみの里Ⅰ・みのみの里Ⅱ・ゆうひの里）において、共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

定員、あかねの里 8 名・ゆうひの里 6 名・みのみの里Ⅰ 6 名・みのみの里Ⅱ 10 名の支援を、管理者 1 名・サービス管理者 1 名・生活支援員 3 名・世話人 6 名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

令和2年度 梨羽の里（共同生活介護事業・短期入所事業）において

なしわの里共同生活介護事業・短期入所事業を今年度より開所した。

共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

具体的には、定員 10 名の支援を、管理者・サービス管理者 1 名・生活支援員 1 名・世話人 3 名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した

尚、女性のコロナ対応のため、5 月より新たに、なしわの里 2 の施設を開所した。

具体的には、定員 4 名の支援を、管理者・サービス管理者 1 名・生活支援員 1 名・世話人 1 名で行った。

令和2年度 若菜・尾道相談事業所（相談事業）において

相談事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

管理者1名・サービス管理者1名・相談員1名で行った。

具体的には、相談支援会議に参加し、相談支援について技術を深めつつ、尾道市（近隣含む）の障害者の相談支援を行った。

令和2年度 若菜・福山相談事業所（相談事業）において

相談事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

管理者1名・サービス管理者1名・相談員1名で行った。

具体的には、相談支援会議に参加し、相談支援について技術を深めつつ、福山市（近隣含む）の障害者の相談支援を行った。

令和2年度 せらの里相談事業所（相談事業）において

相談事業サービス（児童）では、将来自立した日常生活が営めるような支援を行った。

管理者1名・サービス管理者1名・相談員1名で行った。

具体的には、相談支援会議に参加し、相談支援について技術を深めつつ、世羅町（近隣含む）の障害者の相談支援を行った。